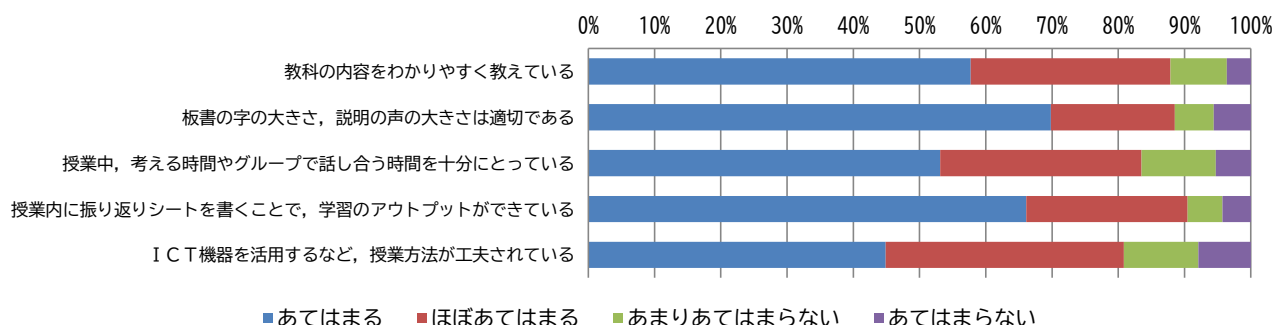


令和6年度 2学期 生徒授業評価アンケート

教科名	数学	重点目標	ICT等を活用した授業を展開し、話し合い活動などを通して生徒が主体的に取り組む授業を行う。単元ごとに振り返りやレポートでまとめるなどの作業を行うことで、学習内容をアウトプットできるようにする。
-----	----	------	--

学習指導に関する現状と課題（2学期・生徒による授業評価アンケートより）

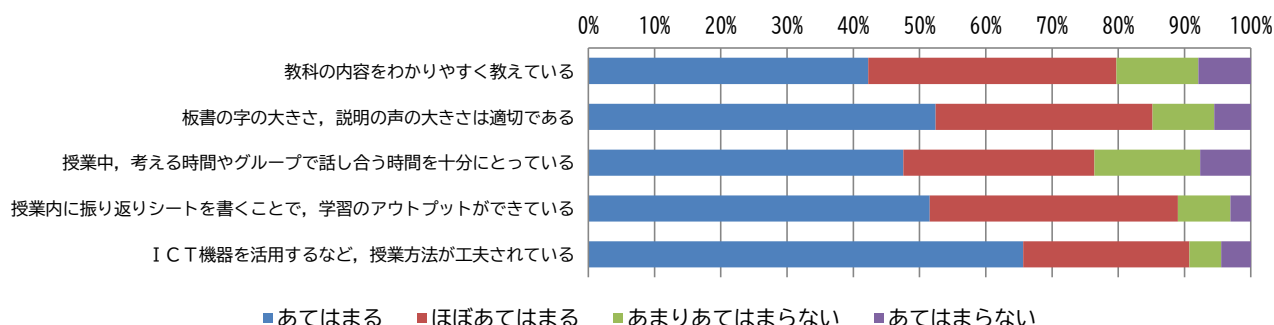
1年 数学



分析

タブレットによる小テストの実施や、天秤や関数といったものをICT機器を用いて活用することで、「ICT危機を活用するなど、授業方法が工夫されている」の項目の数値が上昇した。それに対して、「教科の内容をわかりやすく教えている」「板書の字の大きさ、説明の声の大きさは適切である」の項目では、1学期と比べて否定的な意見が増加している。また、「授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている」の項目では、1学期と比べてあまり変化が見られない。一方的な講義形式にならないよう学年全体での改善を図っていく。

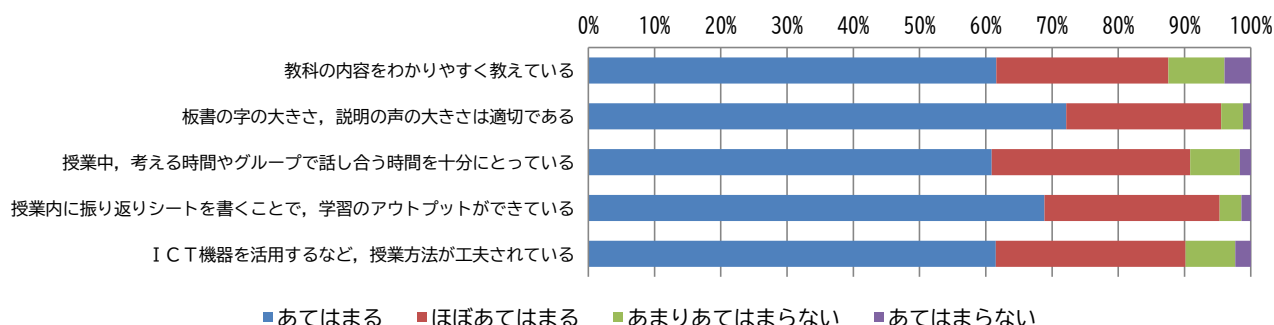
2年 数学



分析

2学期から「自由進度学習」にしたことで、1学期と比べて「ICT危機を活用するなど、授業方法が工夫されている」および「考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている」の項目の数値が上昇した。前者は純増といった様子だが、後者は「あてはまる」と「ほぼあてはまる」の割合が変化しただけで、否定的な評価が2割いることは変わらない。自由進度学習は、生徒自らが行動する内容、時間を決定する取り組みである。なので、考える時間やグループで話し合う時間を生徒たち自身でとれるようなサポート、声掛けを適宜行う。

3年 数学



分析

授業の分かりやすさや板書の字の大きさ、説明の声の大きさは9割前後の高い水準を維持することができた。また、授業内で考える時間やグループで話し合う時間を取っていることの割合が微増していることから、各授業で1学期よりも主体的に授業へ取り組んでいることが分かる。振り返りシートによる学習のアウトプットは、約95%の生徒が「あてはまる」、また「ほぼあてはまる」と回答しており、3年間を通した授業での振り返りにより、生徒が振り返りシートを十分に活用していることが伺える。ICT機器の活用に関しては、毎授業でタブレットのミライシードを用いて計算練習を行っているが、1学期と比べてあてはまるの割合が微減した。計算練習以外でのICT機器の活用も考えていく必要がある。